

診療情報及び診療時に採取・保管された検体を用いた研究に関するお知らせ

愛知県がんセンター

愛知県がんセンターでの診療情報および診療時に採取・保管された検体を
下記の研究に用いることになりましたのでお知らせします。

記

1. 研究責任者	高津 淳
2. 研究課題名	頭頸部癌治療後の嚥下障害に関する定量的解析
3. 研究の目的・方法	<p>頭頸部癌は他の癌に比較して罹患数は少ないが、頭頸部領域には呼吸、発声、構音、嚥下のための日常生活における重要な機能を司る器官が集中しており、治療後の摂食嚥下障害、発話障害、審美性的変化などにより生活の質の低下を伴うことが多い。摂食嚥下障害の診断には、嚥下造影検査(Videofluoroscopic examination of swallowing; VF)が現在ルーチンに行われている。VF評価は日本摂食嚥下リハビリテーション学会より、「嚥下造影の検査法2014年版」が発表されており、口腔から食道までの一連の嚥下動作に関する評価項目が設定されている。しかし、多様な情報が得られる一方、「良好/不良」というような定性的評価が多く用いられている。これは、分析者個人の裁量によるところが大きく、評価の差が生まれたという報告もある。画像解析ソフトを使用した空間的および時間的解析による定量的評価は個々の嚥下関連器官の動態(運動距離・速度など)を詳細に検討することができる。本研究では頭頸部癌治療後患者における嚥下造影検査(VF)に対して、空間的・時間的解析による定量的評価を行い、頭頸部癌治療後の嚥下障害のメカニズムを解明する。</p> <p>研究期間:平成29年11月30日から平成32年3月31日 (遺伝子解析:行わない)</p>
4. 研究の対象となる方	平成25年4月から平成32年3月までに頭頸部癌治療(外科的治療および放射線治療、化学療法)を受けられた患者
5. 研究に用いる検体・情報の種類	検体名() 診療情報内容(嚥下造影画像)

- ① この研究の科学的妥当性と倫理性は、当センターの倫理審査委員会などにおいて厳重に審査され、承認されています。
個人情報 の安全保護については、万全の体制下にて管理され実施されます。
また、調査項目は既存のデータであり、何らかの負担を生じることはありません。
- ② 具体的な研究内容を知りたい、あるいは、今回の研究に用いることを拒否したい場合には下記の問い合わせ窓口までご連絡下さい。

☆お問い合わせ☆

愛知県がんセンター 中央病院臨床試験部試験支援室
倫理審査委員会事務局

住所 : 〒464-8681 名古屋市千種区鹿子殿1番1号

FAX : (052-764-2963)

e-mail: irb@aichi-cc.jp

(お問い合わせは、FAX、e-mail 又は郵送でお願いいたします。)